

羅 針 盤			達 度 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育プログラム等により、高女に魅力を感じていますか。	・高女が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	A	A	A	生徒の意見も聞きながらコロナ禍でも工夫して教育プログラムを実施し、刺激を与え続ける。	・前期から通して80%以上の生徒・保護者が満足できていてよいと思う。好きだと感じていない残り約5%の原因解明とその改善を。 ・生徒にとって魅力的な学校であり素晴らしいです。 ・高女が好きだと感じている生徒が多く、卒業生としてとても誇りに思います。	・アンケートに高女が好きだと感じられない理由を探る項目を入れ、理由に従って改善を計画する。
	2 科学的探究活動やグローバル人材育成活動に取り組んでいますか。	・学校で実施する各種研修やプログラムに満足している生徒の割合が80%以上である。	B	B	B	行事に参加した生徒の評価は高い。学年全体の必修活動にする等、取り組み方について改善を図る。	・活動に参加した生徒からの評価が高いことは良いこと。発展活動を全体活動にすることで、活動自体のレベルや参加する生徒の意欲が下がらないか心配。 ・アンケートでも満足していない回答がみられるため、引き続き改善をはかってください。	・プログラムを精選して、全員参加、希望者参加などメリハリをつけて行う。 ・コロナ禍ではあるが、対面・オンラインを使い分けて実りある活動ができるよう工夫していく。
	3 外部機関との連携による教育活動の活性化を行っていますか。	・各種講演会や、大学や研究機関、企業を訪問する学習活動の取り組みに満足している生徒が80%以上である。	B	A	A	行事が3学期に多い。学期のバランスに配慮して、早い時期での意識の向上に努める。	・保護者宛にも外部機関との取り組みを通知頂ければ、家庭内でも話題になり参加しやすい環境が作られるのではないかと思います。 ・早い時期に活動があったほうがその後の進路の決め方、学習意欲に与える影響が大きいと思う。部活動が忙しい時期(2学期?)は避けたほうが良いと思う。 ・自己評価でAに改善されており、よいと思います。	・学校全体の行事計画を踏まえて、計画的に講演会などを実施して目的が達成されるようにしたい。また、学校webページや保護者通知などを通して、行事を保護者に周知できるようにしていく。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	4 主体的・対話的な深い学びになる「探究的な学習の時間」(課題研究)を行っていますか。	・協働して、または独自のテーマを設定して探究活動を進めていると自己評価している生徒が80%以上である。	B	A	A	2年生では、フィールドワークの一環として、外部の専門家へのインタビューを課した。Chrom ebookの活用は継続したい。	・第1回目より数値が向上している。教職員が授業改善に心掛け、計画的な進路指導がなされていると思われる。 ・専門家との対話は良い刺激になると思う。インタビューする分野は生徒自ら決めていければなお良い(独自テーマの設定として)。 ・自己評価でAに改善されており、よいと思います。	・次年度に向けて「総合評価ルーブリック」を作成した。「総合的な探究の時間」の課題研究を始め、様々な教育活動を通して、生徒が自らの成長を評価できるようにしていく。
	5 生徒は主体的・対話的な深い学びのもと、確かな学力を身に付けていますか。	・授業に満足している生徒が、80%以上である。	B	A	A	生徒への授業アンケートによる各教員の振り返りを行うとともに、授業改善のための校内研修の実施により更なる改善を図る。	・第1回より数値が向上している。 ・生徒の評価は良いが、保護者の評価が低い。オンラインへの不安が原因なのでは。授業自体のレベルは高いと思う。 ・自己評価でAに改善されており、よいと思います。	・工夫次第でまだまだ主体性を伸ばせるとい調査結果も得られた。課題として職員共通の認識とし、改善策を検討していく。
	6 学習内容の定着を図るため、自己が必要とする内容・分量で家庭学習に取り組んでいますか。	・家庭学習について、自らが必要とする内容・分量で取り組んでいると感じている生徒が80%以上である。	C	B	B	課題の提示に対して家庭学習は不十分と感じている原因は、もっとできると思っている事と疲れて取り組めない事に分かれることがわかった。更にその原因をさぐる。	・「もっとできる」と「疲れてできない」は全く違う。同じ生徒内でムラがあるのか、クラス内で良・不良の層に分かれているのか分析すべき。生徒一人一人に合った学習内容が提示できれば良いと思う。1・2年生のうちは特に。 ・もっとできるはずと思える向上心のある学生が多くいるのは素晴らしいです。 ・原因の検索ができていますので、引き続き改善策を継続していただきたいです。	・「疲れてできない」原因を追及し、改善を図る。
7 生徒に年間学習計画や考査範囲等を的確に示して、学習意欲を喚起していますか。	・シラバスによって授業進度を理解し、学年通信や教科担当が発信する文書などで、試験範囲や学習のポイントを確認している生徒が80%以上である。	B	B	B	学年通信の内容は、試験範囲や課題だけでなく、試験範囲における内容のポイントや、学習のポイントなどを今後も継続して掲載していく。	・学年通信は保護者向けにもわかりやすく、共通テストの注意点、持ち物、送迎時の案内、先生方の受験体験など、保護者もなるほどと思える事が多く、注して見るようにしています。 ・オンライン授業では各クラスの理解度がわかりにくい。今後も「どこまで理解していれば良いか」を各生徒が把握できるようにすべき。 ・自己評価よりも外部アンケート結果の方が高い評価です。学校としてもっと自信をもってよいのではないのでしょうか。 ・アンケートではシラバスで授業進度を理解している生徒が少ないように思うので、シラバスの意義をもう少し明確にした方がよいのではないかと思います。	・新入生から新たな評価制度が始まる。各教科での評価の方法を確立させ、生徒自身が何を行えばよいのか、自分は何が足りないのかを伝えられるようにする。	

羅 針 盤			達 度 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②	総合			
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	8 組織的・継続的な指導を行っていますか。	・3日連続で欠席した生徒に適切な対応を行い、関係者で情報を共有する。	B	B	B	今後も各学年において、担任を中心に連続欠席生徒へ対応する。学年会議等で情報を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自に応じた適切な対応をお願いします。</li> <li>コロナ禍のため、引き続き丁寧な対応をお願いいたします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、生徒の欠席や遅刻について、担任が常に生徒情報を把握し、今後もその情報を学年内で共有して対処していく。</li> </ul>
	9 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	・いじめ件数0をめざす。いじめに関しては、早期発見に努め、年2回以上のアンケートを実施する。	B	B	B	いじめ件数0にはならなかった。対策委員会等で防止策を考えていきたい。引き続き生徒がいじめを学校に言える体制づくりや、迅速ないじめの認知を行っていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの学年でいじめが多いのか、コロナ・オンラインの環境の変化は関係しているのか。詳しく調査を。いじめは犯罪だという認識を全生徒・教師・保護者が持つべき。SNSでのいじめもあるので教師は把握しきれないと思う。生徒一人一人の意識が大切。</li> <li>いじめ件数0を目指すよりも、生徒がいじめを学校に言える体制を維持することを優先するのが良いと考えます。</li> <li>孤立する生徒が少なくなるよう、生徒の声を拾いあげてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ悩みアンケートで、いじめや悩みがあると答えた生徒に、担任や教育相談部が詳細について面談を行い、いじめ防止対策委員会で対応を協議することを継続していく。</li> <li>生徒、保護者、教職員に対し、学校いじめ防止基本方針のさらなる周知徹底を図ると共に、定期的に教育相談だよりを発行して注意を喚起し続ける。</li> <li>生徒がいじめの兆候や発生について、声を上げられる相談体制を学校全体の共通理解のもとに維持していく。</li> </ul>
	10 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	・1日の全校生徒数における遅刻者の割合が、2%未満である。	A	A	A	遅刻者数は少ない。コロナ防止に伴う出席停止の人数が多い。他人に感染させないように指導している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>他人に感染させてはいけないという思いは常にあり、学校外における活動がほとんど出来ずに高校生活を終えようとしています。普通であれば、電車の乗って友達と買い物にでもと思いましたが、それができず大学生になる娘を心配に思う気持ちはあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒には自己の健康状態を常に把握し、社会的責任としてコロナ蔓延防止に努める義務を理解してほしい。いまだに、学校生活には部活動や学校行事等に制約はあるが、授業等を中心に出来る限りで、平常の高校生活に近いものとなるよう配慮していきたい。</li> </ul>
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	11 計画的な指導を行っていますか。	・生徒に本校のキャリア教育の「椎樹プラン」を提示し、そのプランを活用している生徒が80%以上である。	B	A	A	「椎樹プラン」に沿って、生徒が充実感を得られる進路行事等を実施することができた。次年度に向け綿密な計画を立てていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回より数値が向上している。教職員が授業改善に心掛け、計画的な進路指導がなされていると思われる。</li> <li>進路指導のおかげで計画的に勉強に取り組めたと思います。</li> <li>椎樹プランが活用されていて良い。オンライン授業で不安も多いと思う。今後もわかりやすい教育プランの提示を続けてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「椎樹プラン」を最大限に活用して、自分の興味や適性をしっかり理解させ、それをどのように社会に活かせるかを考えさせるようにしていきたい。また、探求活動との連携を強化し、外部の協力も得てライフプランを明確にさせたい。</li> </ul>
	12 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	・自己分析を行うとともに、自分の適性と進路を関連づけて能動的に取り組む生徒が80%以上である。	B	A	A	定期試験や模擬試験後の生徒面談等の機会を多く持ち、生徒に現状を正しく認識させ、進路に対する意欲を向上させることができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回より数値が向上している。</li> <li>BからAへと評価が上がっている。後半で80%以上の生徒が満足できていて良い。オンラインのほうが個人面談や相談がしやすい生徒もいると思うので活用を。このコロナ禍、今まで以上に生徒に気をかけてください。</li> <li>自分の興味関心や得意分野などを職業と関連づけて目標を設定し、進路実現に向け積極的に取り組める生徒の割合が学年が上がるにつれて増えており、進路指導の効果が上がっていることがうかがえる。</li> <li>アンケートからも改善を認めており、良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身を深く理解し、広い視野を持てるよう綿密な計画を立てていきたい。多くの人の話を聞く機会をもち、意欲を向上させる行事を計画したい。</li> </ul>
	13 適切な進路情報を提供していますか。	・生徒の将来の希望について理解している保護者が80%以上である。 ・学校から発信される進路に関する情報を活用している生徒が、80%以上である。	B	A	A	各学年の進路通信等を利用して進路に関する情報を紙媒体で確実に保護者に届けるようにした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回より数値が向上している。</li> <li>アンケートからも改善を認めており、良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路情報を確実に保護者に届ける工夫を重ねていきたい。</li> </ul>
		・学校から発信される進路に関する情報を活用している生徒が、80%以上である。	B	B	B	生徒が活用しやすい情報を発信できるよう次年度に向け話し合いを重ねていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校から発信される情報、家で自分で調べる情報、オープンキャンパスで(オンライン)など、現地で体験ができませんでしたが、情報を集めることは多く出来ました。</li> <li>「生徒が必要な情報」と「今足りない情報」の分析が必要。</li> <li>引き続き指導をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発信した情報を分析し、生徒が必要としている情報を発信できるよう準備を進めていきたい。</li> </ul>

羅 針 盤			達 度 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②	総合			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	・コロナ禍であるため、録画した動画やオンライン配信等の手段も含め、複数回の授業公開を実施する。	B	B	B	中学生への学校説明会もWeb開催だったが好評であった。何事においても工夫した情報発信を実施していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>工夫した生徒会での取り組みがされており、コロナ禍で変化していく情報発信はとて有意義であり、すばらしい取り組みと思います。しかし出来ることであれば学校説明会も現地で開催して体験して頂きたいという願いはあります。</li> <li>オンライン授業も活用して計画的に授業が行われていることが家庭に示せて良いと思う。教師の負担になりすぎないように、今後も工夫して続けてください。</li> <li>コロナ禍への対応、ICT化への取り組みがなされている。</li> <li>コロナ禍「学校の新しい生活様式」を引き続き実践して頂きたいと思えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高女の魅力が伝わる情報発信をこころがけ、実施していく。</li> </ul>
		・webページをこまめに更新し、学校の最新情報を提供する。	B	B	B	学校行事に関する情報の更新は随時できた。部活動の各種大会結果の更新をさらに呼び掛けた。		
	15 中学校や地域との情報交換・連携を進めていますか。	・「学校評議員会」、「学校関係者評価委員会」を年2回実施する。また地元小・中学校との連携を深める。	B	B	B	第1回の学校評議員会は感染症対応のため開催できなかった。オンラインによる学習支援など、新たな交流・連携の在り方を検討する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評議員会は参加することができませんでした。感染症対策で思うように議論することも出来ず、心苦しく思います。</li> <li>限られた資料だけでは適切に評価できていないと思う。地元小中学校との連携にはオンラインを活用してみたい。</li> <li>オンラインでの対応ができると良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の状況が継続する場合、より効果的な情報交換・連携の方法を探って実施していく。</li> </ul>
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	16 ICTを活用した指導を行っていますか。	・全ての教師が、ICTを活用した授業を実施する。	A	A	A	全員がICTを活用した授業を実施しており、今後も効果的に研修を実施し情報共有していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT教育の環境整備・活用、大変でしょうが今後も続けてください。コロナ終息後もぜひ有効活動を。</li> <li>引き続きのご指導をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もICTを活用した教育活動に向けての環境を整え、推進していきたい。</li> </ul>
	17 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	・各種会議においてクロームブックを活用し、ペーパーレス化を進める。	B	B	B	各種会議や行事、授業においてクロームブックを引き続き活用していきたい。		